

平成 27 年度予算案について

(H27. 02. 06記者発表)

平成 27 年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。

新年度予算につきましては、4 月に市長選挙を控えておりますことから、市政運営の基本となる経常的経費を中心とした「骨格予算」といたしましたが、市内の景気・雇用情勢に配慮し、6 月補正では支障がある継続事業のほか、一定程度の投資的経費を計上するとともに、市政に空白が生じないように、子育て支援などの年度当初から実施すべき新規事業についても盛り込み、編成したところであります。

予算の編成に当たっては、その基本的な考えとして、財政標準化計画のもと、収支バランスの維持と、公債費の抑制などに努めるとともに、「第 6 期総合計画」の着実な推進を図り、人口



が増加し、発展が続くまちを目指す『千歳のちから“伸展”予算』として、取りまとめたものであります。

この結果、一般会計総額では、369億4千万円となり、骨格予算ではありますが、前年度予算と比べ、5億3千万円、1.5パーセントの増となっております。

また、特別会計では6会計の総額で157億5千万円となり、前年度予算と比べ9億5千万円、6.4パーセントの増となりました。

これに公営企業会計を加え、総体額で675億6千万円の規模として取りまとめたところであります。

新年度予算の概要につきましては以上であります。現在、国におきましては、3.1兆円規模の補正予算を編成し、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」を実施することとしております。

その内容の1つは、「地域住民生活等緊急支援のための交付金」を創設し、プレミアム付商品券の発行など、地方に地域の消費を喚起するための施策や、地方創生に向けた地方版総合戦

略の策定などの先行的取組を促すものであり、当市においても、
国に呼応した対策を実施することとしております。

具体的な事業につきましては、最終的な取りまとめ段階にあ
り、平成26年度の補正予算として、新年度予算案と併せて、
3月2日に開会予定の第1回定例会市議会に提案する予定として
おります。